

5、会計予算

- ・1期分の予算をたてる。

6、教職家族支援金と果実献金をひとつにすることについて

- ・2つをまとめて特別献金とし、特別な出費(支援金、その他)に対し使えるお金にすることを提案する。見舞等の慶弔費は経常会計に組み入れる。

教職家族支援金

教職を取り巻く環境が改善されてきた為
現在では当初の目的にそぐわなくなった

残金：3,134,714 円

果実献金

金利の良い時の利息をまとめたもの
・サウスカロライナ女性会の125周年記念 総・大会
への招待に係わる航空運賃として
：300,000 円(後に返金)
・東日本大震災への支援献金：300,000 円

残金：931,668 円

総残金：4,066,382 円

7、規約改正

- 第2章 第4条 本連盟は3年に1回総会を開催する。→2年
- 第9条 役員任期は、選出された総会閉会の翌日から次期総会の閉会の日までの3年とする。→2年とする。ただし、継続して3期以上役員になることはできない。
- 第11条 会計監査の任期は、連盟役員と同じ総会閉会の翌日から次期総会の閉会の日までの3年とする。→2年とする。

提案理由

各教区より連盟担当役員を選出するのが年々厳しくなっているのが現状。
1期3年任期を2年にすれば役員を担う方を出しやすくするのではないかと。
ただし、継続して3期以上役員になることはできない。

8、内規改正

- 第6条 総会開催地は、その期の役員会において決定する。→東京とする。

提案理由

東京は全国から集まるのに利便性もよく、会場に東京教会を使用することで、
今までの総会より会計上からも経費を減らすことができる。

- 第8条 総会と平行して大会を行なう。→大会は必要に応じて開催することができることとし、
総会において協議してその開催を決定する。

総会の提案事項(案)で、重要議題ばかりです。
各教会でじっくり話し合い、教会の総意を持って、総会に出席しましょう。

第22回 女性会連盟 総・大会

2012年 6月5日(火)～6日(水)

総会審議事項(案)

1、第22期主題

「キリストが望んでおられる」

副主題

喜び、祈り、感謝

主題聖句

テサロニケの信徒への手紙一 5章16～18節

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。
これこそ、キリスト・イエスにおいて神があなたに望んでおられることです。」

まだ間に合います。
締め切りは4月16日です。

2、第22期連盟活動方針(案)

- ・年2回の「連盟会報」とホームページによる情報の発信と共有
- ・聖書研究によるみことばの学び
- ・感謝献金による国内外への宣教と支援(特に東日本大震災の被災者へ心を寄せる)
- ・次世代への信仰の継承、伝道教育の支援(TNG、若い世代など)

3、サバ神学校神学生支援について

- ・22期をもって終える

どうして

- ・10年の約束だった
- ・その後3期継続してきた
- ・献金が目標額に届かない
- ・残金が底をついた

でも・・・

- ・次期は年間65万の予算とする
- ・交流は続け、感謝献金を捧げていく
- ・次の海外の支援先を次期22期の役員に検討してもらう

4、神学生支援金について

- ・終了とする

どうして

- ・女性教職者の支援で始まり、
のちに神学生支援に変更
- ・本教会が責任をもって支援する

どうするの

- ・用途を指定した目的献金として、
残金322,258円全額を神学校に
献金する